

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社鶴見運輸倉庫	代表取締役社長	三浦 茂樹	滋賀県	運輸業, 郵便業	<a href="http://tsurumi-logi.com/">http://tsurumi-logi.com/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	
-------	--

**(取組方針)**

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

**(法令遵守への配慮)**

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

**(契約内容の明確化・遵守)**

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先と荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化について自ら積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	幹線や長距離輸送においてパレットの活用を積極的に推進し、総荷役時間を削減します。
3	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	出荷時の順序や荷姿を想定した荷造り等をおこない荷待ち時間を短縮します。
4	A ⑩	リードタイムの延長	トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能になるように予定時間等を遵守します。また幅を持たせた到着時間を認めることなどにより十分なリードタイムを確保する。
5	D ①	荷役作業時の安全対策	荷役作業をおこなう場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保など対策を講じるとともに、事故が発生した場合は速やかに対応していく。
6	F ①	脳ドック受診の推進	50歳・55歳・60歳・65歳になる乗務員へ脳ドックを会社の費用負担で受診。

PR欄	<p>八日市ICから約3キロ、F級・C級・定温の温度帯と移動式ラックの完備で迅速な入出庫とそれぞれのお客様のニーズに対応いたします。ベンダー物流・店舗物流の配送コストの削減、納品車両の軽減、仕入れコストの削減によるローコストオペレーションの推進や配送業務効率化の提案等、お客様と信頼のパートナーシップを構築していきます。</p>
-----	--